

ISO/TC 211 第 38 回ベルリン総会 開催報告

ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構) は、世界的な標準化及びその関連活動の発展を図ることを目的に 1947 年に発足し、ノルウェーを議長国とした非政府機関です。

ISO の中には多くの Technical Group (専門委員会) が設けられ、それぞれの専門分野における国際標準の検討を行っています。その一つとして、“地理情報の標準化を検討する専門委員会 (ISO/TC 211 : Geographic Information / Geomatics)” が、1994 年に設立され、わが国も地理情報の国際標準の作成に積極的に貢献するため、P メンバー (正式メンバーで、総会出席の義務及び投票の権利を有する) として参加しています。

ISO/TC 211 では、現在までに地理情報の設計方法や品質の考え方、地理情報を使った各種サービスの仕様などの国際規格群が「地理情報標準」として生まれています。これらの規格群は、「地理空間情報活用推進基本計画」で引用されるなど、地理空間情報社会の高度化の実現に大きく貢献しています。

ISO/TC 211 第 38 回総会は、WG (ワーキンググループ)・EC (編集委員会)・PT (プロジェクトチーム) 等の分科会討議や 2 日間にわたる本会議及びレセプション、テクニカルツアー等の関連行事を含めて、6 月 2 日 (月)～6 日 (金) までの 5 日間の日程で、ドイツのベルリン市にあるドイツ規格協会で開催されました。総会には、わが国をはじめ、地理情報の国際規格作成に参加している 35 の国・地域及び ISO 内外のリエゾン団体 (関連機関) から約 70 名の参加がありました。

現在作業中の規格の一つに、WG10 の内部に結成された PT 19155-2 があります。これは日本の植原啓介氏 (慶應義塾大学准教授) をプロジェクトリーダーとして原案の作成、とりまとめを担当しています。ベルリン総会では正式なプロジェクトミーティングを行い、CD 投票開始へ向けての議論が行われました。

■第 38 回 ISO/TC 211 総会

開催日時：平成 26 年 6 月 2 日 (月)
～6 日 (金)

会 場：ドイツ規格協会 (DIN)
(ドイツ・ベルリン市)

日本からの参加者：3 名

藤村 英範 (国土地理院/団長)、
植原 啓介 (慶應義塾大学准教授)、
ブルース・W・リース

(一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC))



■主な決議事項

ISO/CS の方針に従ってプロセスを短縮することを可能とした (CD の投票期間 2 か月、FDIS を自動スキップ)
プロジェクト運営上の決議 (新規プロジェクトの登録、改訂作業開始、投票開始指示等)
TC 211 からのリエゾン代表の承認 (DGIWG/ISCGM/UN-GGIM-AP)
UN-GGIM に TC 211/OGC/IHO の名で提出する文書「地理空間情報における規格の役割ガイド」の完成要請と提出容認
第 39 回総会及び部会を 2014 年 11 月 24 日 (月) から 29 日 (金) にかけて、中国の深圳 (シンセン) 市で開催